

優秀賞

新聞離れに、終止符を

与座 郁哉 (会社員：愛知県)

近年、若者の活字離れが深刻化しており、特に「新聞」という紙媒体においてその傾向は顕著に見られます。若者の半数以上がスマートフォンを所有している現代では、情報収集は有料の紙媒体ではなく、手軽に見れる無料のネットニュースで十分だという意見が大半を占めています。このままでは、若者の知識力低下や思考力低下は避けられません。そこで、若者と新聞を繋ぎ直すスマートフォンアプリ「ニュース・ハンターズ」を提案させていただきます。このアプリではまず、自身の分身であるキャラクター(アバター)を登録するところから始まります。登録後、連動するスマホカメラを新聞紙面の上にかざすと、ARシステムが作動してスマホ画面上に4択のクイズ問題が表示されます。クイズの内容は、そのニュースをきちんと理解していないと解けない問題ばかりなので、必然的に新聞記事を読み込み、その背景を学ぶ必要性が出てきます。問題に正解するごとにその難易度に応じた経験値を稼ぐことができ、一定の経験値を稼ぐとアバターがレベルアップするので、プレイヤーがハンターとして難問(モンスター)を退治するクイズRPGのような感覚でゲームに取り組むことができます。このアプリは、NIE(Newspaper in Education)の一環として、学校のプログラムでも活用することが可能です。例えば、学生たちが各々クイズ問題に取り組み、その中で正解率が高い者を学内で表彰することで、「新聞を読める=賢い・カッコいい」というような印象を与えることができます。また、画面上に近くにいるプレイヤーのステータスがリアルタイムに表示される機能が備わっているため、同じ学校内での競争効果を生み出すことができます。こうしたアプリの登場をきっかけに新聞を日常的に読み込む若者が増えることで、若者の新聞離れの減少、ひいては活字離れの減少に繋がることを強く願っております。